

鹿角市部活動地域移行検討委員会

令和5年度 第4回会議資料

令和6年3月19日（火）

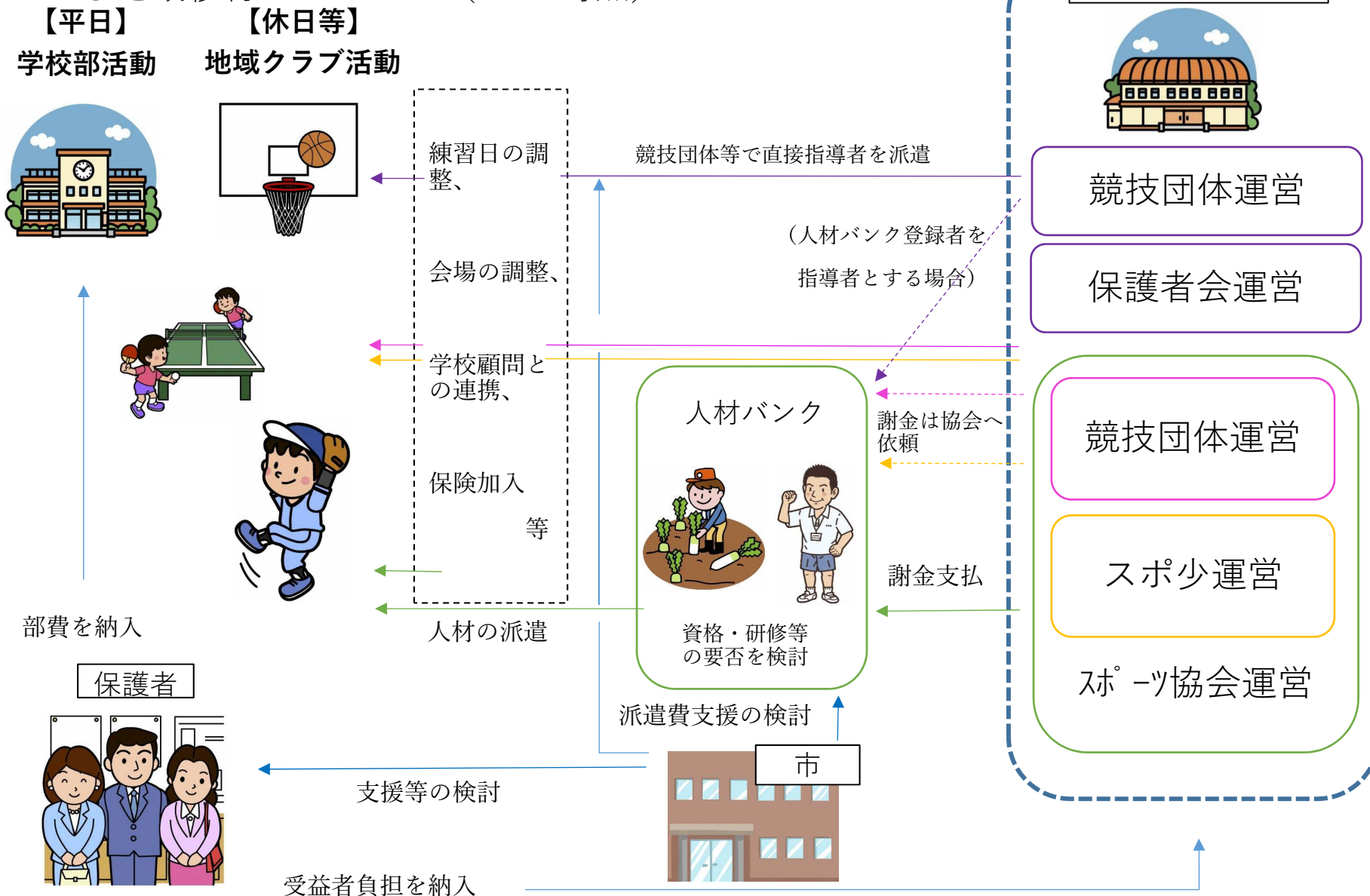
鹿角市教育委員会

目 次

(1) 令和6年度の取り組みについて P 1
(2) その他 P12

(1) 令和6年度の取り組みについて

○地域移行のイメージ (R6.3時点)



(1) 令和6年度の取り組みについて

○取組内容 (※現在3月議会において審議中)

令和5年度

①部活動地域移行検討委員会

②部活動指導員の配置

令和6年度 (案)

①部活動地域移行検討委員会

(新)スポーツ分科会の設置による
検討

(新)部活動地域移行推進計画の策定

②部活動指導員の配置

(新)地域移行コーディネーターの
配置

(新)モデル団体活動実証事業

- 1回目 (5月頃) 新年度事業の取組内容
- 2回目 (11月頃) 団体支援策中間報告、市推進計画審議
- 3回目 (3月頃) 分科会報告、次年度の体制

[スポーツ分科会]

- 1回目 (6月頃) イメージなどの情報共有、指導人材の発掘や人材バンク制度に係る協議、団体の意向確認
- 2回目 (10月頃) 分科会の意見とりまとめ

素案作成→検討委員会にて意見収集→R7.3策定

4名継続配置

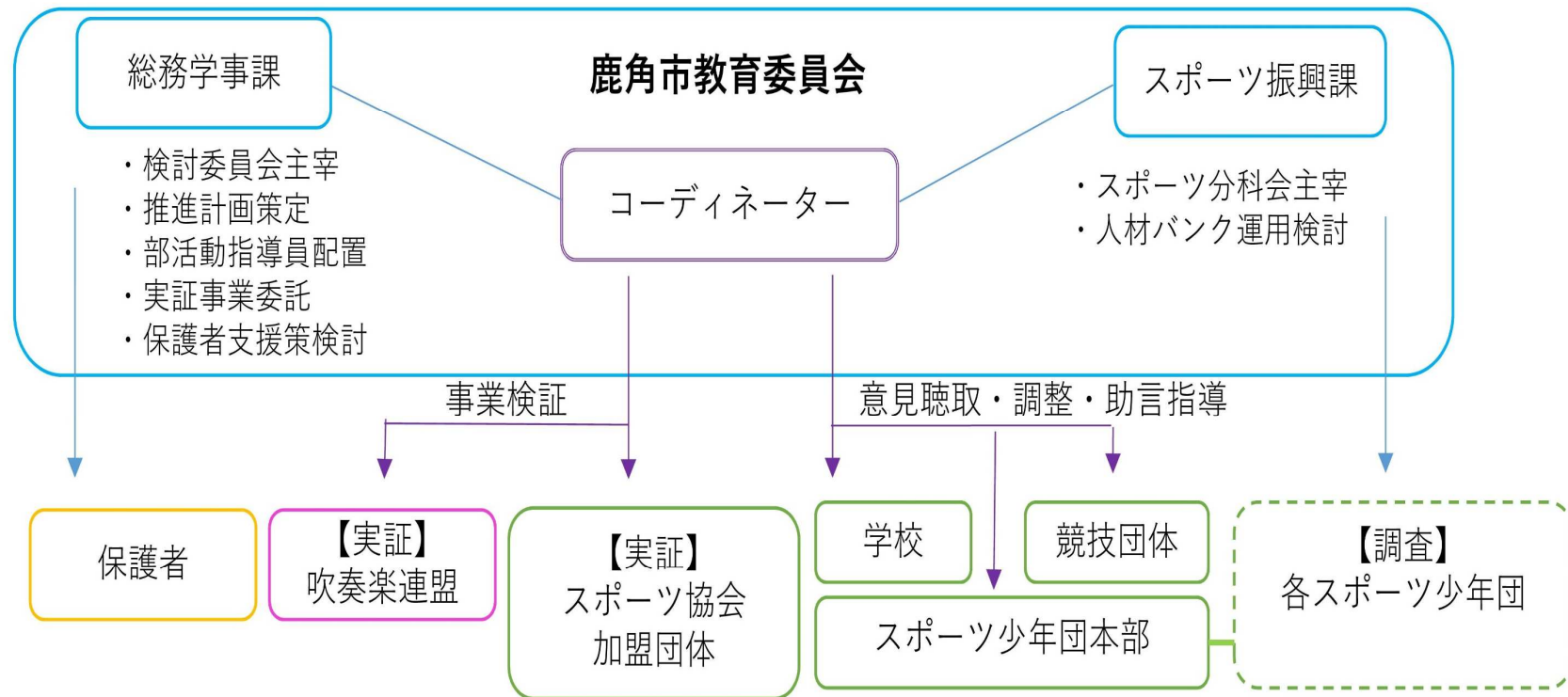
花輪中学校	陸上部
〃	吹奏楽部
十和田中学校	バスケットボール部
八幡平中学校	バレーボール部

学校(部活動)と関係団体、スポーツ協会、市教委との間で地域移行を進めるための協議や調整などを行う人員の配置(1名)

3つの運営形態を踏まえ、2団体からの協力を得て、実際に活動することによって生じる課題を整理し、地域にあった休日の部活動の地域移行の取組を検証する。

(1) 令和6年度の取り組みについて

○推進体制



(1) 令和6年度の取り組みについて

○鹿角市部活動地域移行検討委員会

1. まずは休日等の部活動について、準備の整った部活動から段階的に移行していく方針のもと、検討を進める。
2. 課題を主に5つの区分に分類・整理しながら、現時点で取り組みが可能と見込まれるものから検討を進める。
 - ①運営に関すること
 - ②指導者に関すること
 - ③練習場所に関すること
 - ④危機管理と責任の所在に関すること
 - ⑤学校との連携に関すること
3. 市が対応することや、学校と競技団体又は保護者等との連携により対応することなど、それぞれが担う主な役割を整理しながら、検討を進める。
4. (仮称)部活動地域移行推進計画の検討を進め、年度末までの策定を目指す。
5. 開催スケジュール
 - 1回目(5月頃)新年度事業の取組内容
 - 2回目(11月頃)団体支援策中間報告、市推進計画審議
 - 3回目(3月頃)分科会報告、次年度の体制

検討委員

鹿角中学校体育連盟
NPO法人鹿角市スポーツ協会
鹿角市スポーツ推進委員会
統合型地域スポーツクラブ
鹿角市スポーツ少年団本部
鹿角地区吹奏楽連盟
吹奏楽関係団体

各中学校のPTA
各中学校関係者
鹿角市教育委員会
その他教育委員会が必要と認める者

(1) 令和6年度の取り組みについて

○鹿角市部活動地域移行検討委員会（スポーツ分科会）

1. スポーツ関連団体に対して、本市の部活動地域移行のイメージの共通認識を持ってもらう。
2. 個別競技ごと、各学校部活動ごとの現状を把握・共有する。
3. 地域移行の受け皿となるための課題抽出と解決策の検討を行う。
4. 地域移行の受け皿としての意向を確認する。
5. 各スポーツ少年団への指導者に関する実態調査結果を踏まえ、人材バンクの運用主体や登録・管理方法などの検討を行う。
6. 開催スケジュール
 - 1回目（6月）イメージなどの情報共有、指導人材の発掘や人材バンク制度に係る協議、団体の意向確認
 - 2回目（10月）分科会の意見とりまとめ

スポーツ分科会 会員（案）

鹿角市スポーツ協会加盟団体（14団体）

鹿角陸上競技協会
鹿角市野球協会
鹿角剣道連盟
鹿角市ソフトテニス協会
鹿角市卓球協会
鹿角市相撲連盟
鹿角市スキー連盟
鹿角市ボウリング協会
鹿角市バドミントン協会
鹿角市バレーボール協会
鹿角バスケットボール協会
鹿角サッカー協会
鹿角ボールルームダンス連盟
鹿角弓道会

鹿角中学校体育連盟専門部（8競技）

陸上競技
バスケットボール
軟式野球
バレーボール
ソフトテニス
卓球
剣道
スキー

(1) 令和6年度の取り組みについて

○ (仮称) 部活動地域移行推進計画の策定

1. 推進計画スキーム (案)

- ・基本目標の検討
誰もが身近でスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことのできる環境づくり (県計画)
生徒の選択により、望む活動に取り組むことができる環境づくり (第2回検討委員会)

- ・基本方針の検討
環境整備、体制構築等

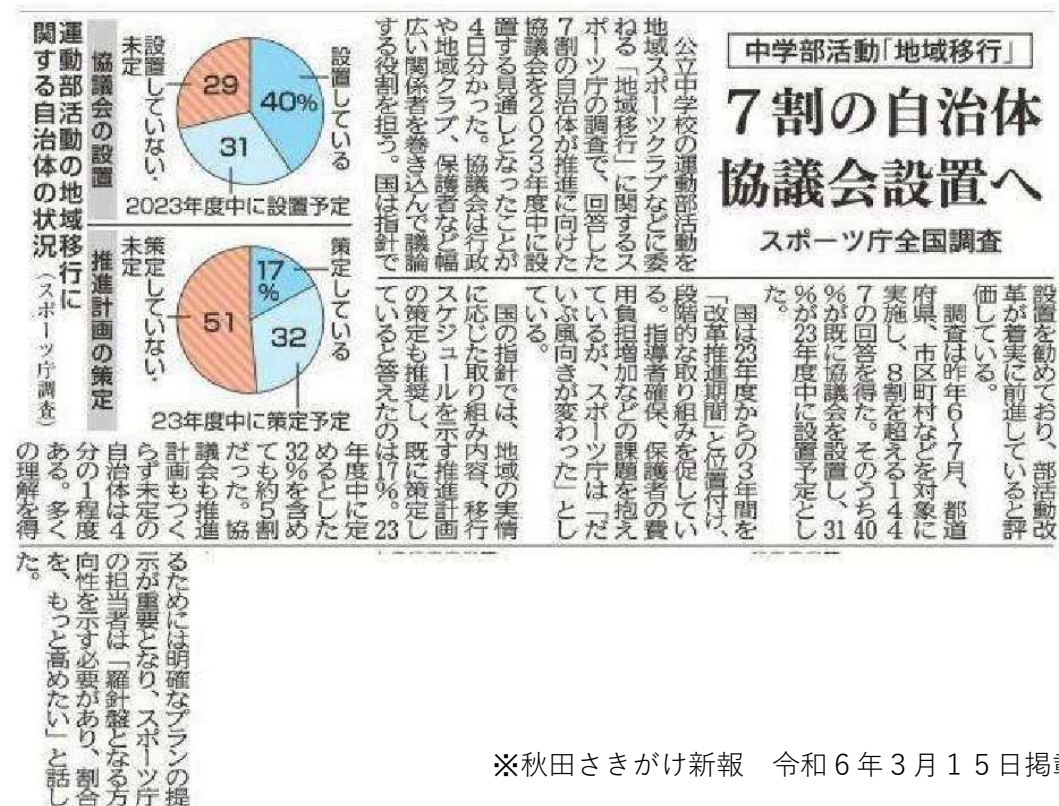
- ・実施主体や運営団体の検討
課題整理と方向性

- ・移行スケジュールの検討
令和7年度までに少なくとも
1つ以上の移行を目指す (県計画)

- ・具体的な施策の検討
取り組み例、支援策等

2. 計画策定スケジュール

- ～10月 素案作成
- 11月 検討委員会にて審議
- 3月 策定



※秋田さきがけ新報 令和6年3月15日掲載

(1) 令和6年度の取り組みについて

○部活動指導員の継続配置

1. 部活動指導員

趣旨：中学校の部活動の充実と教職員の負担軽減を図るために設置

身分：市会計年度任用職員

待遇：報酬（@1,600円/h × 上限210時間）、費用弁償（交通費相当）、労災保険料

財源：県補助金（部活動活性化事業補助金）、補助率 国1/3以内・県1/3以内

※R2年度からの活用（同一学校において同一の指導員配置は原則5年以内）

2. 配置（令和5年度同様）

花輪中学校 陸上部 1名

〃 吹奏楽部 1名

十和田中学校 バスケットボール部 1名

八幡平中学校 バレーボール部 1名

3. 部活動指導員の方向性検討

配置による効果検証

実態調査・需要調査

次年度以降の方向性

(参考) 令和4・5年度部活動指導員活動実績と令和6年度活動見込

学校	部活動	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）
花輪中学校	陸上部	102日210時間	96日202時間	105日210時間
花輪中学校	吹奏楽部	44日138時間	42日134時間	55日155時間
十和田中学校	バスケットボール部	115日210時間	85日148時間	105日210時間
八幡平中学校	バレーボール部	-	86日191時間	105日210時間

(1) 令和6年度の取り組みについて

○地域移行コーディネーターの配置

1. 地域移行コーディネーター

趣旨：学校（部活動）と関係団体、スポーツ協会、市教委との間で地域移行を進めるための協議や調整などを行う

身分：市会計年度任用職員

財源：市10/10

2. 配置

鹿角市教育委員会総務学事課 1名

3. 主な業務（案）

①検討委員会

コーディネーター業務報告等

②学校・保護者協議

保護者説明会の企画・開催、各校（4校、30部活動）の現状と地域移行の意向確認

③競技団体協議

競技団体（スポ少本部含む）の活動状況の把握と整理、訪問調査による意向確認
次年度実施団体と学校との調整

④実証事業団体との調整

実証事業の企画・運営のコーディネート、参加者アンケートの実施

⑤その他

人材バンク設立に向けた協議・検討、他市町村・中体連等の状況確認と整理

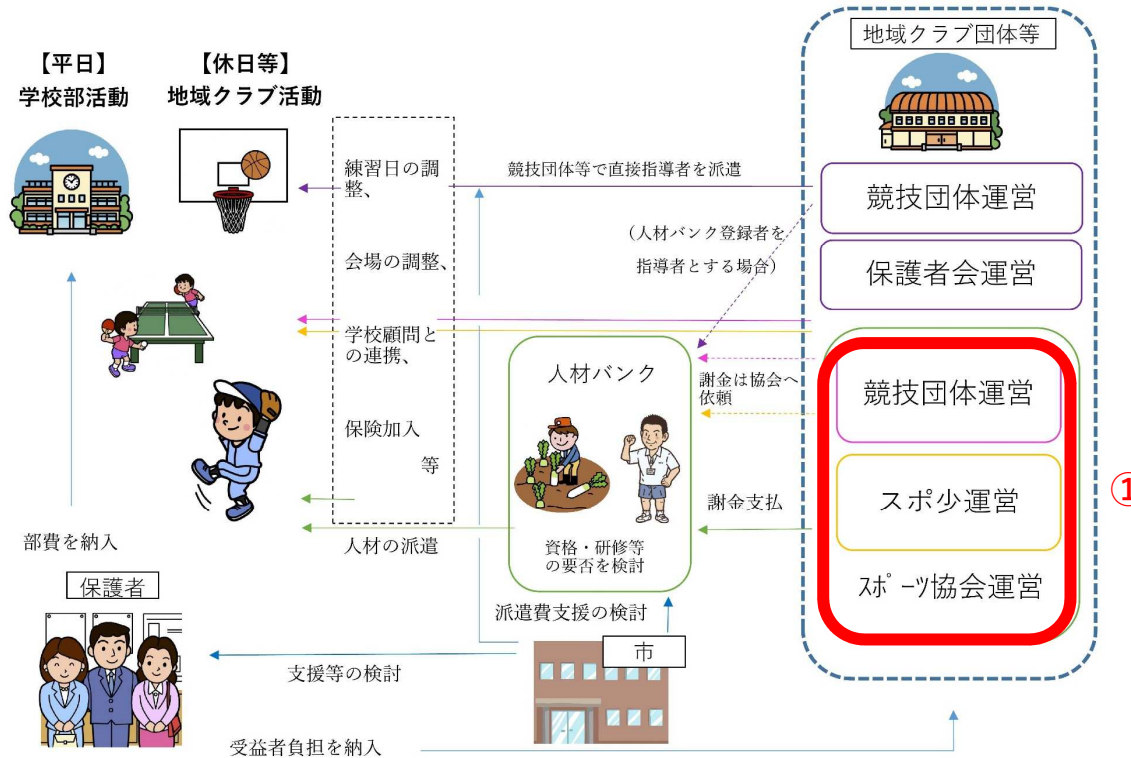
(1) 令和6年度の取り組みについて

○モデル団体活動実証事業

1. 3つの運営形態を踏まえ、実際に活動することによって生じる課題を整理し、地域にあった休日の部活動の地域移行の取組を検証する。
2. モデル団体（案）
運動部活動から1団体、文化芸術部活動から1団体の予定
3. 検証内容（案）
これまでの検討委員会で挙げられた下記課題について、事業の実施や参加者アンケート等の実施により検証する。
 - ①運営形態
 - ②活動費（保護者負担含む）
 - ③活動に必要な用具等の整備
 - ④指導者派遣
 - ⑤指導者資格
 - ⑥練習場所の確保、施設改修
 - ⑦練習場所までの送迎
 - ⑧危機管理（事故発生時の対応）
 - ⑨傷害保険等
 - ⑩学校との連携

(1) 令和6年度の取り組みについて

○モデル団体活動実証事業① 【鹿角市スポーツ協会】



1. スポーツ協会が加盟団体との共催で週末に練習会を開催し、検証する。
想定している役割
 スポーツ協会：企画運営、調整、指導者派遣（謝金支払）
 加盟団体：指導
 市：企画・運営のコーディネート、検証
2. 開催予定数 未定（団体との調整を今後実施）

(1) 令和6年度の取り組みについて

○モデル団体活動実証事業② 【鹿角吹奏楽連盟】



- 鹿角吹奏楽連盟と市が共催で合同部活動形式の練習会を週末に開催し、検証する。
 想定している役割
 吹奏楽連盟・各学校：企画、運営、調整、指導、指導者派遣（謝金支払）
 市：外部指導者派遣（謝金支払）、企画・運営のコーディネート、検証
- 開催予定数 3回（団体との調整を今後実施）

(2) その他

○秋田県中学校体育連盟の状況

・秋田さきがけ新報による報道抜粋

2024年度（令和6年度）の中学総体への参加について、9競技30団体の地域スポーツクラブが認定された。

(1) 県中体連審査要件

- ①競技団体などの資格を有する指導者が継続的に教えていること
- ②選抜チームではなく選手を公募していること
- ③活動時間は部活動に準じていること

(2) 認定された競技

- 陸上
- 軟式野球
- バレーボール
- ソフトテニス
- 卓球
- バドミントン
- ソフトボール
- 剣道（鹿角市 楓凜館鹿角道場）
- 水泳

24年度は9競技30団体

県中体連

地域クラブの中学総体参加

県中学校体育連盟（県中体連）が主催する2024年度の春季中学大会、中学総体への参加が認められた地域スポーツクラブが、26日までにまとまった。9競技の30団体に認定証が発行された。

中学総体への地域クラブの参加は23年度から認められた。24年度は新たに春季大会への参加も可能となった。通学する学校に部活動がない場合、他地区のクラブから参加できる特例も定められた。

1月から約1カ月間、クラブの申請を受け付け、各都市の審査を経て、認定された。認定証を送付した。今月21日までに対象クラブに認定証を送付した。

春季大会は地区大会のみで開催。地区によっては中体連以外の団体が主催する場合もあるが、原則参加可能とする。中学総体は、地区大会がない場合は県大会からの参加となる。通学する学校に部活動がない、地区をまたいで参加するのは2団体の4人となる見込み。

生徒がクラブと部活動のどちらで参加するかを選択した上で、正式に決まる。

（鎌田秀平）

認定を受けた団体は次の通り。

▼陸上Ⅱ大館ジュニアアスリート（大館市）、NAC同 ▼軟式野球Ⅱ由利本荘少年軟式野球ク、由利本荘市▽バレーボールフラウプリッツ秋田ハレーボールク（秋田市）、秋田アレイザース・キエン同▽ソフトテニスⅡ大館市ソフトテニス協会（大館市）、A・STAR・S（秋田市）、南外神岡Jソフトテニスボ少（大仙市）、NASTCユース（北秋田市）、将軍野クラブ（秋田市）、グロース由利ソフトテニス（由利本荘市）、グロースソフトテニス（大館市）、白神JSTC（能代市）▽卓球Ⅱ金浦TTC（にかほ市）、やばせTTC（秋田市）、モンスタールビット湯沢市、秋田卓球会館スボ少（秋田市）、ドラゴンJr（三種町）、県南卓球道場（大仙市）▽バドミントンⅡ横手バドミントンジュニアスボ少（横手市）、ブレイジングトルシーダ大館（大館市）、湯沢バドミントン少年団（湯沢市）、八郎潟レイクジュニアバドミントンク（八郎潟町）、能代バドミントンスボ少（能代市）、能代ジュニア同▽ソフトボールⅡNOSHIROソフトボールク（能代市）▽剣道Ⅱ楓凜館鹿角道場（鹿角市）、三種町西部剣道スボ少（三種町）、桂城剣友会（大館市）▽水泳Ⅱスイムマライフ（秋田市）	トテニス（由利本荘市）、グロースソフトテニス（男鹿市）、白神JSTC（能代市）▽卓球Ⅱ金浦TTC（にかほ市）、やばせTTC（秋田市）、モンスタールビット湯沢市、秋田卓球会館スボ少（秋田市）、ドラゴンJr（三種町）、県南卓球道場（大仙市）▽バドミントンⅡ横手バドミントンジュニアスボ少（横手市）、ブレイジングトルシーダ大館（大館市）、湯沢バドミントン少年団（湯沢市）、八郎潟レイクジュニアバドミントンク（八郎潟町）、能代バドミントンスボ少（能代市）、能代ジュニア同▽ソフトボールⅡNOSHIROソフトボールク（能代市）▽剣道Ⅱ楓凜館鹿角道場（鹿角市）、三種町西部剣道スボ少（三種町）、桂城剣友会（大館市）▽水泳Ⅱスイムマライフ（秋田市）
--	---

※秋田さきがけ新報 令和6年2月27日掲載

(2) その他

○中学校体育連盟の状況（秋田県・秋田市中学校体育連盟HPより抜粋）

・各競技部細則 1

競技	令和5年度	令和6年度	県内認定団体数
陸上競技	<p>在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録している団体（地域クラブ活動）のいずれかで参加できる。</p> <p>リレーと駅伝は、メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブで参加できる。</p> <p>複数の種目に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。</p> <p>在籍している学校が所在する都道府県より参加する。</p>	<p>（令和5年度同様）</p> <p>リレーと駅伝は、地域クラブ（自治体主導）、地域クラブ（受け皿）、又はメンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブで参加できる。</p> <p>（令和5年度同様）</p> <p>在籍している学校に希望する部活動がないこと等の理由で<u>都道府県をまたいだ参加も可能</u>となる場合がある。</p>	2
バスケットボール	<p>地域クラブ（自治体主導）で、地域移行の実証事業の対象地区・対象競技の場合に参加できる。</p> <p>地域クラブ（受け皿）で、複数校から一部の選手のみ選抜された形ではなく、日常的に活動が持続されている団体であること。</p> <p>該当市町村以外の地区からの選手参加は認めない。</p>	<p>（令和5年度同様）</p> <p>（令和5年度同様）</p> <p>（記載なし）</p>	0

地域クラブ（自治体主導）：地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動

地域クラブ（受け皿）：地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動

(2) その他

○中学校体育連盟の状況 (秋田県・秋田市中学校体育連盟HPより抜粋)

・各競技部細則2

競技	令和5年度	令和6年度	県内認定団体数
軟式野球	<p>地域クラブ活動の参加要件</p> <p>1 日本中体連が示した参加規定を遵守している。</p> <p>2 継続的に活動し、都道府県軟式野球連盟に加入している。</p> <p>3 指導者の資格要件</p> <p>4 大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。</p>	(令和5年度同様)	1
バレーボール	<p>各都道府県中学校体育連盟の登録チームまたは地域クラブ(中学校で参加している場合、その中学校の生徒のみで編成された地域クラブ活動は参加できない)</p> <p>地域クラブは、チーム登録、所在地、メンバーの募集要項や規約整備、指導者資格の条件あり</p> <p>選手・スタッフは、予選から全国大会まで一人同一のチーム登録とし、各チームからは1チームのみの参加とする。</p> <p>地域クラブ内から大会運営役員を選出、専門部運営にも参加する。</p> <p>選手の移籍は、地域クラブ活動は各都道府県が設定した期間内の移籍は認めない。</p>	(令和5年度同様)	2

(2) その他

○中学校体育連盟の状況 (秋田県・秋田市中学校体育連盟HPより抜粋)

・各競技部細則3

競技	令和5年度	令和6年度	県内認定団体数
ソフトテニス	<p>参加資格の特例（ガイドライン遵守、競技団体への登録、大会運営協力等）</p> <p>指導者の資格要件（秋田県のみ）</p>	<p>地域クラブは、<u>大会に出場するために設立されたものではなく、地域における継続的なスポーツ活動を確保する目的のものであること。</u></p> <p>指導者の資格要件（全国）</p>	8
卓球	<p>構成員要件、指導者資格要件、日本卓球協会等の登録等</p> <p>団体戦に参加できる地域スポーツ団体等は学校部活動が地域移行されたスポーツクラブとする。</p> <p>ただし個人戦のみに参加を希望する地域クラブ活動に関しては地域移行の証明を求めない。</p>	<p>（令和5年度同様）</p> <p>団体戦に参加できる地域クラブ活動は、<u>「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動等」</u>とする。</p> <p>（令和5年度同様）</p>	6
剣道	<p>団体戦については、地域移行モデル地区や、自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域移行スポーツ団体、地域移行の受け皿となっているスポーツ団体等とする。</p> <p>個人戦については、所属するスポーツ団体からの参加とする。</p>	<p>団体戦については、<u>「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」</u>とする。</p> <p>（令和5年度同様）</p>	3